

みずほCustomer Desk Report 2016/09/13号(As of 2016/09/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.47	1.1239	115.24	0.9752	1.3270	0.7541
SYD-NY High	102.82	1.1268	115.45	0.9763	1.3347	0.7567
SYD-NY Low	101.56	1.1212	114.25	0.9692	1.3236	0.7494
NY 5:00 PM	101.88	1.1234	114.42	0.9721	1.3335	0.7566
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.14/13.54	△25RR	0.105	Yen Call Over		
NY DOW	18,325.07	239.62	債券市場			
NASDAQ	5,211.89	85.98	日本2年債	-0.2340	▲3.4bp	
S&P	2,159.04	31.23	日本10年債	-0.0020	1.3bp	
日経平均	16,672.92	▲292.84	米国2年債	0.7701	▲1.2bp	
TOPIX	1,323.10	▲20.76	米国5年債	1.1965	▲2.6bp	
シカゴ日経先物	16,735	0.00	米国10年債	1.6629	▲1.2bp	
ロンドンFT	6,700.90	▲76.05	独10年債	0.0380	2.7bp	
DAX	10,431.77	▲141.67	英10年債	0.8660	0.7bp	
ハンセン指数	23,290.60	▲809.10	豪10年債	2.0490	8.5bp	
上海総合	3,021.98	▲56.88	為替市況	USD/CNH	6.6851	▲0.0108
USDJPY 3M Vol	12.49	▲0.04%		ドルインデックス	95.12	▲0.22
USDJPY 6M Vol	11.94	0.04%	商品市況	CRB指数	182.936	0.40
EURJPY 3M Vol	11.71	▲0.02%		NY金	1,325.600	▲8.90
EURJPY 6M Vol	11.60	0.08%		WTI	46.290	0.41
				Dubai Spot	-	-

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月12日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	7月 4.9%/5.2%	-2.9%/0.3%
	08:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	8月 -0.3%/-3.6%	-0.1%/-3.4%
9月13日	21:05	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁講演	-	-
	02:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	02:15	米 プレイナードFRB理事講演	-	-

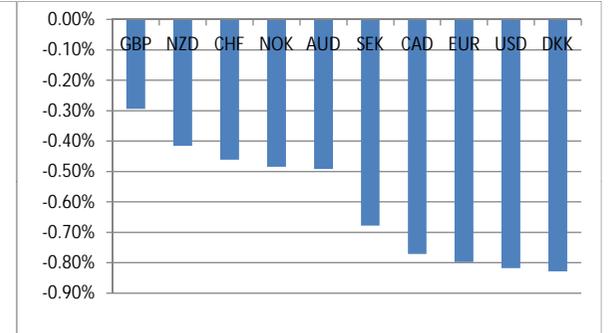
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月13日	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	8月 6.2%/10.2%/7.9%	6.0%/10.2%/8.1%
	15:00	独 CPI-確報値(前月比/前年比)	8月 0.0%/0.4%	0.0%/0.4%
17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/0.7%	-0.1%/0.6%	
	英 CPIコア(前年比)	8月 1.4%	1.3%	
17:30	英 PPI産出(季調前、前月比/前年比)	8月 0.3%/1.0%	0.3%/0.3%	
18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	9月 56.0/2.5	57.6/0.5	
18:00	欧 ZEW調査(期待)	9月 -	4.6	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	週明けのドル円相場は一時102.82を付けた後、先週金曜日の海外時間に米株が大幅下落し、日経平均株価の下落に対する警戒感が広がる中で円買いが強まり一時102.30まで下落。本邦7月機械受注は市場予想(前月比:▲2.9%)に反して同:+4.9%と上昇したものの、市場の反応は限定的となり102.47レベルで東京時間オープン。一時102.66まで上昇したものの、日経平均株価が大幅下落となる中でドル円の上値は押さえられた。その後は特段の新規材料ない中、海外時間でのプレイナードFRB理事の講演待ちの雰囲気が強まり102円台半ばでの積み合い推移が続いた後、102.54レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、102.54レベルでオープン。米民主党大統領候補クリントン氏の体調不良や、北朝鮮が核実験の準備を完了したとの報道等が意識されリスク回避の円買いが進行。101.71まで下落し、101.80レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3273レベルでオープン。9日にローゼン格林・ボストン連銀総裁が「緩やかな金融引き締めを正当化する妥当な論拠がある」と発言したこと等から、英米金利差が拡大する中、1.3236まで売られる。一服後は、前回の英中銀金融政策決定会合で国債買い入れプログラム再開に賛成票を投じた英中銀のシャフク副総裁が、17年2月末で退任することを発表するとポンドが買い戻され、1.3284レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1243レベルでオープン。序盤は、独金利上昇につられ、ユーロドルも1.1264まで買われる。しかし、工業用ガス供給の独・米大手の合併交渉が打ち切られたこと等を背景に、独株が軟調推移する中直ぐ売りに転じ、また、10月に予定されていたオーストラリア大統領選決選投票の延期が発表されると、政局不透明感等から、ユーロドルは、1.1212まで下落。1.1231レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は101.80レベルでオープン。朝方、来週の米FOMCIに向けて思惑が錯綜する中、ロックハート・アトランタ連銀総裁とカシユカリ・ミネアポリス連銀総裁の発言が伝わったが、9月利上げの具体的なヒトは示されなかったことから、先週から続いていたドル買いも一服し、ドル円は101円台後半での取引となった。その後、夕方は続落して始まったものの下げは限定的となったことで、リスク回避の円買いは後退し、ドル円は102円台に戻し一時102.08まで上昇した。午後に入り、注目されたプレイナードFRB理事の講演で、「金融政策を引き締める論拠は弱い」とし、「今後数ヶ月の指標で評価」と述べたことが伝わると、米債利回りは低下し、ドル売りも強まると、ドル円は一時101.56まで下落した。その後、夕方は上げ幅を拡大したが、株価にのみとなっていたドル円は上げの反応は見せず、下値模索が続く101.88レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1231レベルでNYオープン。朝方、米FRB当局者達から米早期利上げに関してのヒトが得られなかったことから、対欧州通貨でのドル買いの動きは一服し、ユーロドルは1.12台前半で推移した。午後に入り、プレイナードFRB理事が、利上げを急ぐべきではないとの見解を示したため、米早期利上げ観測が後退しドルが反落したことで、ユーロドルは一時1.1268まで上昇した。ただ、終盤にかけて、ユーロドルは伸び悩み再び1.12台前半へ戻し1.1234レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.10-102.10	1.1170-1.1320	113.00-115.50

【マーケットインプレッション】

先週末は米金利高・米株安となり9月利上げへの期待が盛り上がったが、昨晩はその反動からドル買いが剥落し円高が進行した。注目だったプレイナード米FRB理事の講演にて「金融政策を引き締める論拠は弱い」と述べられたことで、米金利が低下、ドル売りが強まり、ドル/円も102円を割り込み一時101円半ば付近まで下落した。

本日も引き続きドル/円の上値の重い展開を予想する。昨晩の米高官発言をもって来週FOMCまでの間ブラックアウト期間に入った。この為、来週の米金融政策決定の手がかりは米経済指標に託されたこととなるが、本日は目ぼしい米経済指標の発表は予定されておらず、昨日のドル失望売りムードが継続するだろう。